

令和4年度「青森ヒバ・広葉樹の採材検討会」を開催しました

下北森林管理署では毎年、素材の有利採材や需要動向に合った仕分けとなるよう採材検討会を開催しています。今年も9月9日（金）、むつ市川内町の板家戸国有林内において下北地域県民局や林業関係者44名が出席し開催されました。

検討会では、担当職員から事業地の概要や採材・巻立の説明を行った後に、採材の検討を行いました。

今回、採材を検討した青森ヒバには丸太の中心部分に腐れがみられ、事業体ごとに異なる採材となる部分もありましたが、実際に玉切りし腐れの状態を確認するなど、採材をする時の基本的な考え方や留意点について意見交換等を行いました。また、市場関係者から広葉樹の採材にあたっては長級により価格が付かないものもあるとの説明を受け、市場動向把握の重要性を再認識したところです。

この検討会には当署の若手職員も多く参加しており、採材とはどんな作業なのか、採材された木材の用途や適切に採材が実施されることの重要性について学ぶ良い機会となりました。

当署では、本検討会を素材の見方や採材の考え方を関係事業体と共有する場ととらえており、ニーズに即した木材を適切に供給できるよう今後も継続して開催していきたいと考えています。

【採材検討会の様子】



【青森ヒバ（腐れ材）伐採前・伐採後】

